

ピーマンの日焼け果発生は遮光のみより強制換気との併用で軽減可能

[要約]

ピーマンの日焼け果の発生は、果実表面温度が 40℃に達したことを確認後、常時遮光によりハウス内照度を低下させ、かつ換気扇を用いた強制換気によりハウス内温度の上昇を抑制し、果実表面温度を低下させることで軽減できる。

茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所

令和7年度

成果
区分

研究